

## 私の思い、私の願い

(2000-1)年初にあたって)

思いは実現する、強い願望を抱けば思いはやがて実現する。そのように言われる方が多い。しかもその道を極めたような方がそのように云う。「本当だろうか？」私のような凡人は直ぐ疑ってしまう。疑ってしまうから凡人の凡人たる所以かもしれないが、それでも「思わなければ実現しない」のはその通りだと思う。とすれば、思いを実現するには、思いを明確に固めて強く思うことから始めるべきなのだろう。

新しい年、しかも9が三つ並んだ年の年頭にあたって、このレポートのテーマには相応しくないかも知れないが「私の思い」を語らせていただきたい。

昨年もそうであったが、退却と後退を繰り返す日本の金融を語るのは余り楽しいものではない。今年こそは金融再生の曙光を見つけ出せるように思うが、その前に私自身の願望を言わせて貰う失礼をお許しいただきたい。

95年5月、今から3年7ヶ月前の銀行退職から現在までの道筋を振り返ると、脱線と試行錯誤の連続でいつ沈没してもおかしくなかった。にも拘らず放り投げないで来れたのは多くの方の支援があったればこそで、深く感謝申し上げる次第である。が同時に、この期間は銀行員時代には見えなかったことが見えてきた期間でもあった。

正直に云って、商売でお金を稼ぐのがこんなに大変だとは思わなかった。お金をいただく所業がこれほどきついとは思わなかった。だから銀行員時代に思っていた中小企業経営者像は大きく変容した。これはサラリーマンには理解できない、自分その中に身を置かなければ解らない感覚だと思った。

一方、私自身が保有している、あるいは新たに吸収する知識なり情報等が、中小企業経営者にかなるの程度で不足していることも判った。そして、私自身がノウハウを保有していなくても人的なネットワークを構築すれば解決出来る問題も多いことが判った。だから私は、見知らぬ世界の見知らぬ人達とも接触するように心がけた。そして少しずつ、その果実が実になりそうに感じられるようになった。そんなことから私自身の夢みたいなものがムクムクと頭をもたげて来た。

私の退職の原点は、銀行員という「お金を持ったコンサルタント」ではなく、何の背景もない「お金を持たないコンサルタント」になることだった。片手に貪欲で臆病なお金を握って、片手に皆様のお役に立つという理想を掲げて顧客に接して行くのが厭になったのだ。途中で迷いもしたが、原点を忘れずに仕事を構築出来ればと思った。

そんなことを目指して早3年近くになるが、今後のことを思うとその原点を具体的に実現するにはどうしたら良いか考えるようになった。

私は現在自宅の一角で仕事をしている。今流行のSOHO型と云えば口当りはいいが、何も無いだけの話に過ぎない。そんな私の願いは、日々決断を強いられ孤独の中で悩みが絶えない中小企業経営者が自由に使える「教室のような塾のような、あるいは相談室でしかも休憩室であるような場所」を開設することである。そこは、政治的背景も大企業の影響もない全く独立した中小企業経営者あるいは起業家のための場所である。

そこでは、経営上の様々な問題の解決策を助言提案できる専門家が探し出せて、人的ネットワークの構築も出来る。そして、研修や自己啓発の場としての機能もある。そこはリーズナブルな価格で利用でき、空いている限り何時でも自由に利用できる。そんな空間を創りたい。

もちろんその為には私(SMC)が強くならなければならない。食うや食わずでは実現不能だ。そんなことからこのレポートの購読者数をもっと増やしたいと思っているが、その為には中小企業経営者の更なる支持を獲得しなければならない。それが出来なければレポートの購読者数も増えないし、前述の空間の実現など覚束ない。

今年はそんな「思いと願い」の実現が見える年としたい。そう考え出すと走り出したくなる私であるが、皆様の叱咤激励をお願いする次第である。

### § 直言 §

今年は、金融機関及びその店舗の存廃が明確になる年となる。自社の取引金融機関・取引店舗が失くなることもあると覚悟して行動を。

最後になりましたが、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。